

「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

学科	総合学科	学年	1 年	類型		組	7 組	単位数	3
使用教科書	VISTA English Communication I New Edition (三省堂)								
副教材等	クラウン チャンクで英単語 Basic (三省堂)								

1 学習の到達目標

① 日常的な話題や、社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、読み取ることで話し手や書き手の意図を把握できる。
② 日常的な話題や、社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて自分の考えや気持ちを書いたり話したりすることができる。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
思考・判断・表現	場面や状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で話し手や書き手の意図や考えを理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているか。	(5)(6)(7)(8)(9) (10)(11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)ペアワークやグループワークへの参加状況 (2)教師の質問に対する応答	
課題などの提出状況	(3)長期休業中などに指示する課題 (4)予習プリント	
言語活動の観察	(5)スモールトーク等の会話 (6)プレゼンテーション (7)ライティング活動	
インタビューテスト	(8)口頭テスト (9)音読テスト	
ペーパーテスト	(10)定期考査 (11)校内模試 (12)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	Lesson 1 Colors of Spring	・ 予習→授業→復習のサイクルを確立させた上で、以下のことに留意して学習する。	(9)
	Lesson 2 Dick Bruna	(ア) 各章において、新出語句の意味を調べる等の予習を行った上で授業に臨む。	(6)(8)
	Lesson 3 Interesting Sports	(イ) ペアワークなどの言語活動を通して本文の内容理解を深め、自分の考えを英語で伝える。	(7)(9)
	Lesson 4 Pictograms	(ウ) 日本語と英語の構造上の違いや意味のまとまりで英文を理解する力などを身に付け、英文の理解度を高める。 (エ) 国や地域による色の捉え方、アニメの誕生秘話、少し変わったスポーツ、ピクトグラムについて学び、知識や教養を身に付ける。 (オ) be 動詞、一般動詞、進行形、助動詞、動名詞の用法について理解を深め、適切に活用できるようにする。	
二 学 期	Lesson 5 We Are Part of Nature	・ 1 学期での学習のねらいを踏まえた上で、以下のことに留意して学習する。	(9)
	Lesson 6 Machu Picchu	(ア) 語彙や構文を身に付け、英文の構造を理解しながら、本文の内容を読み取る。	(7)(9)
	Lesson 7 Artificial Intelligence	(イ) 各課で学んだ語彙や表現を用いて、「話すこと」や「書くこと」を通して、自分の意見を英語で伝えることができるようにする。	(6)(9)
	Lesson 8 Is There a Santa Claus?	(ウ) 動物写真家の活動、マチュピチュの謎、人工知能、サンタクロースの存在をめぐるの実話を読み、知識や教養を深める。 (エ) 不定詞、受動態、関係代名詞の用法について理解を深め、適切に活用できるようにする。	
三 学 期	Lesson 9 Kid's Guernica	・ 1、2 学期の学習のねらいを踏まえた上で、以下のことに留意して学習する。	(7)(8)
	Lesson 10 Ethical Fashion	(ア) 語彙や構文を身に付け、英文の構造を理解しながら、本文の内容を読み取る。 (イ) 各課で学んだ語彙や表現を用いて、「話すこと」や「書くこと」を通して、自分の意見を英語で伝えることができるようにする。 (ウ) ゲルニカに込められた平和への祈り、エシカルファッションについて読み、知識や教養を深める。 (エ) 比較表現、仮定法の用法について理解を深め、適切に活用できるようにする。	(6)(7) (9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。